

# 住警器奏功事例・半断線

## 火災概要

共同住宅の居室において、通電中のコタツの電源コードから出火し、コタツ布団、座椅子、畳などを焼損した建物火災です。

火災発生時、一人で在宅しテレビを見ていた児童が、住宅用火災警報器の警報音に気づき、別室のコタツから立ち上がる約90cmの炎を発見したもので、洗面器に浴槽の水を汲み、数回かけて消し止めています。

## 原因概要

本件火災は、経年による劣化、或いは折り曲げ、押し付けなどの外力により、素線（より線）の一部が断線（半断線）したコタツの電源コード（袋打綿コード、1998年製造）を、そのまま使い続けたため、断線箇所の抵抗値が上昇し、局部的に発熱量が増加、ついには被覆などの周囲の可燃物を焼損させたものです。

## 類似火災の防止対策

- (1) 電源コードを束ねたまま使用しないようにしてください。
- (2) 家具などで電源コードを押しつけないように注意してください。
- (3) 電源コードをコンセントから抜く場合は、コードを持たずに、プラグを持って抜きましょう。
- (4) 電源コードがいつもと違って熱い、電源コードを動かすと通電したり切れたりするなど、何らかの異常を感じたら、すぐに使用を止めて販売店やメーカーに相談しましょう。



電源コード断線箇所



住宅用火災警報器の設置状



電源コード断線箇所の電気痕の拡大

また、本件火災においては、住宅用火災警報器が設置されていたことが功を奏し、火災を早期に発見することができ、見事に初期消火を成功させ、大事には至りませんでした。

・・・**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**・・・